

令和3年度 自己評価および学校関係者評価書

令和4年2月16日
函館市立白尻中学校

1 本年度の重点教育目標

1 「わかる」「できる」を実感する魅力ある授業を通して、「学ぶ力」の育成と学力の向上を図る。
2 「集団の一員として、人とかかわりを大切にして、地域の特性や少人数のよさを生かした教育活動」を実践する。

2 本年度の取組の重点

1・生徒が考えを持つ時間の確保 ・どの生徒にもわかりやすい学習課題の提示 ・自分の言葉で伝えたり、説明する場面の確保 ・ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業づくり ・補充学習の充実 ICT機器を活用した授業改善
2・社会性の基本である「返事」や「挨拶」そして「ありがとうございます」の励行 ・地域素材を生かした総合的な学習の時間（縄文文化・漁業・地域での職場体験学習）
・各種行事や生徒会活動での縦割り集団活動の推進（体育大会、学校祭、白中の風等） ・様々な教育活動を通じての言語活動の充実（自分の思いや考えを人前で発表）

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
教育課程	教育目標・重点教育目標達成のため、教育活動の中で具現化を図って取り組んでいる。	a	○達成のための重点事項の提示により、教職員間の共有化が更に進んでいる。	A	A	概ねよい。
	社会性を身に付け、自律する生徒へと変容している。	a	○生徒への意識化は、進んできている。			
	分掌等の職務内容が明確であり、業務が円滑且つ組織的に推進されている。	a	○学校は「組織で動く」ことを全教職員が意識していく。			概ねよい。
	職務の遂行に必要な報告・連絡・相談・確認がなされている。	a	○分掌、学年部会での業務確認とその協議が大切。困っていれば、管理職へ相談をする。			
確かな学力	各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の調和がとれており、年間指導計画に従って適切に実施している。	a	○概ねよい。コロナ禍に対応して万が一の臨時休校等を踏まえて計画的に推進してきた。	A	A	概ねよい。
	誰一人取り残さないで、公正に個別最適化された学び（特別支援教育を含めて）の充実が図られている。	d	○学習面に支援を要する生徒への手立てを校内支援委員会等でその取組を考え、全体で協議していく。 ○全生徒の学力向上のための不断の「授業改善」を意識していく。	A	A	概ねよい。
豊かな心	いじめ・不登校・問題行動等の未然防止・早期発見・早期解決の取組が適切に行われている。	a	○いじめ対策委員会が定期的で開催され、組織的な動きになってきた。	A	A	概ねよい。
健やかな体	健康安全に対する意識を高め、その維持・管理のための正しい生活習慣の育成に努めている。	a	○生活習慣については、保護者との連携が重要となっているので、保健便り等での啓発も必要。	A	A	概ねよい。
	生徒と教職員の生命を守り安全・安心を確保するために、組織的な危機管理体制を確立し、安全管理・安全教育に取り組んでいる。	a	○定期的な安全点検等の日常の取組はもとより、通報訓練など、計画的に研修を実施していきたい。	A	A	概ねよい。
連携	学校運営協議会の事業を理解し、連携を図っている。	b	○コロナ禍により、地域との連携が取りづらい面があったが、地域素材・地域人材の活用という面では、連携が図られている。	A	A	来年度は閉校準備委員会との連携を密にしていく。
環境・事務	学校全体で業務改善に取り組んでいる。	a	○生徒との時間を生み出す、授業改善に取り組むという視点で、今後も業務改善の取組をおさえていく。	A	A	先生方が早く退勤できるよう、業務改善を進めてほしい。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。